

## 宍道湖におけるアオコの確認について

10月2日（水）に河川パトロールにより松江市宍道町東来待でアオコ（レベル1～2）を確認しました。今年は大橋川で9月12日（木）に部分的なアオコ（レベル1～2）が確認されていきました。今後も、引き続き河川パトロールによりアオコの監視を行い、レベル4のアオコが確認された場合にはホームページで情報提供を行うとともに、試験回収を行う予定です。アオコの確認状況は、以下のとおりです。

### 【アオコ発生状況】

状 況：平成25年10月2日（水）  
国土交通省が実施している10月2日の河川パトロールにおいて、宍道湖でアオコを確認。

発 生 範 囲：宍道湖（松江市宍道町東来待（レベル1～2））

発 生 種：ミクロキスティス

今 後 の 対 応：引き続き、国土交通省において状況の監視を行うとともに、関係機関と情報を共有し、レベル4のアオコが確認された場合にはホームページで情報提供を行う予定です。また、レベル4のアオコが広範囲に確認された場合には試験回収を行う予定です。

### 提供先

島根県政記者会、出雲市政記者クラブ

### 問い合わせ先

国土交通省中国地方整備局 出雲河川事務所 水環境課

（担当） 建設専門官 かさみ のりゆき 笠見 紀之

電話 0853-20-1763

■アオコの発生範囲

宍道湖で河岸沿いに1000m<sup>2</sup>程度（レベル1～2）が確認されました。

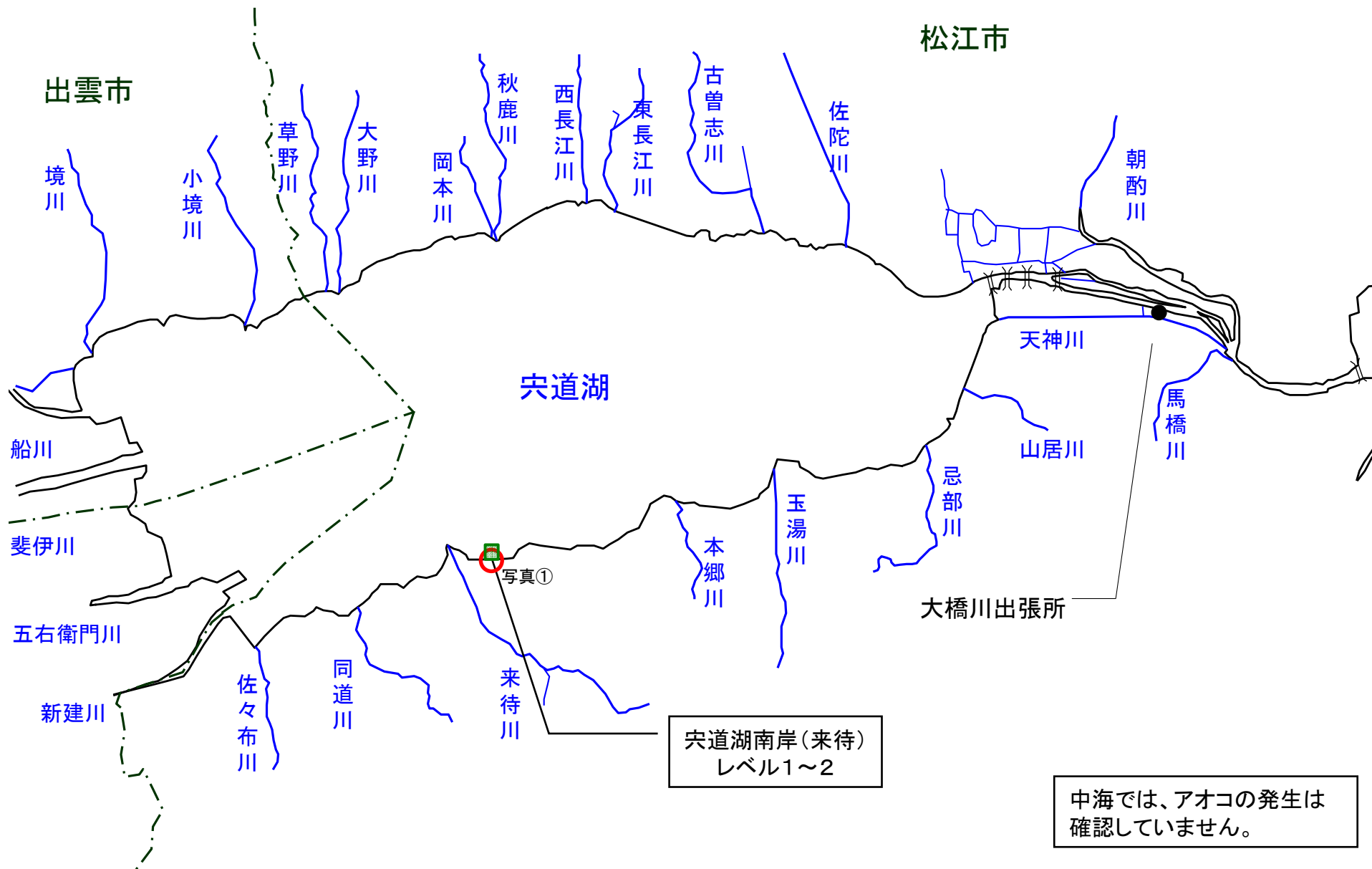
位置は別図のとおりです。

■アオコ発生の原因

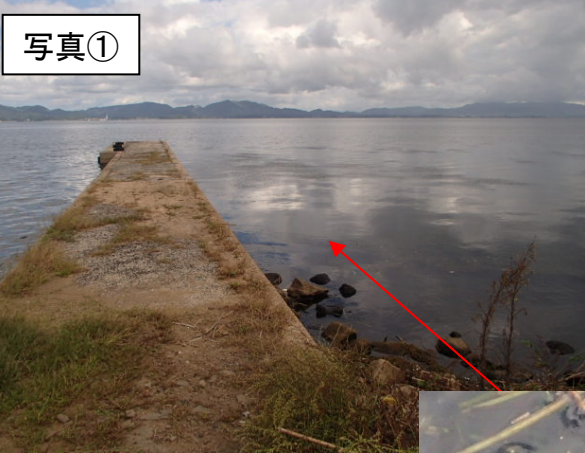
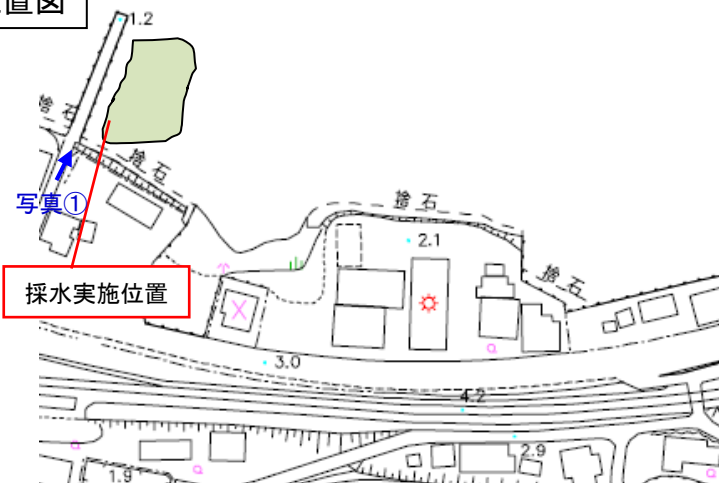
アオコの原因種は、ミクロキスティスです。

宍道湖 アオコ発生範囲【平成25年10月2日実施】

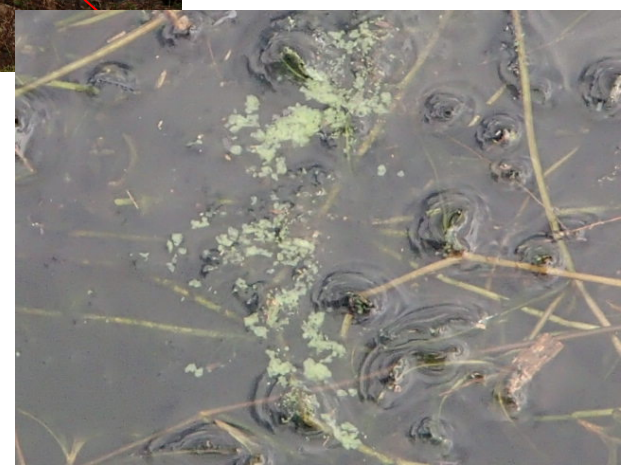
○ : 写真撮影地点



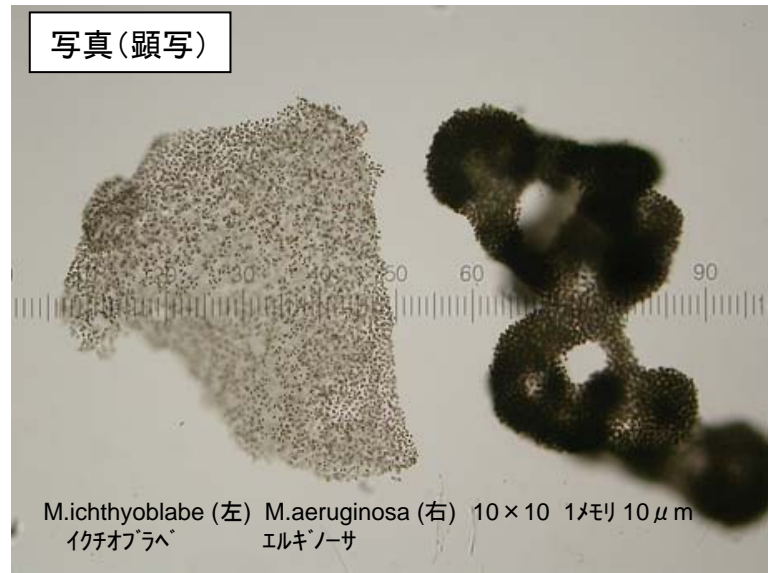
位置図



写真①  
宍道湖南岸(松江市宍道町東来待)



写真(顕写)



M.ichthyoblabe (左) M.aeruginosa (右) 10×10 1μm 10μm  
イチチオブラベ エルギノサ



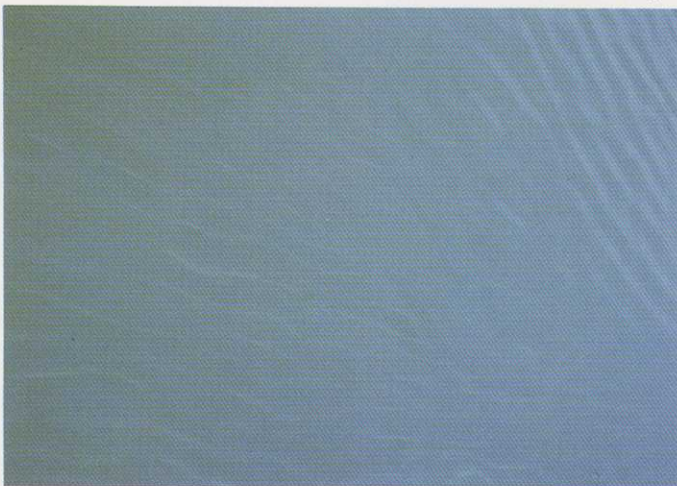
# 参考資料



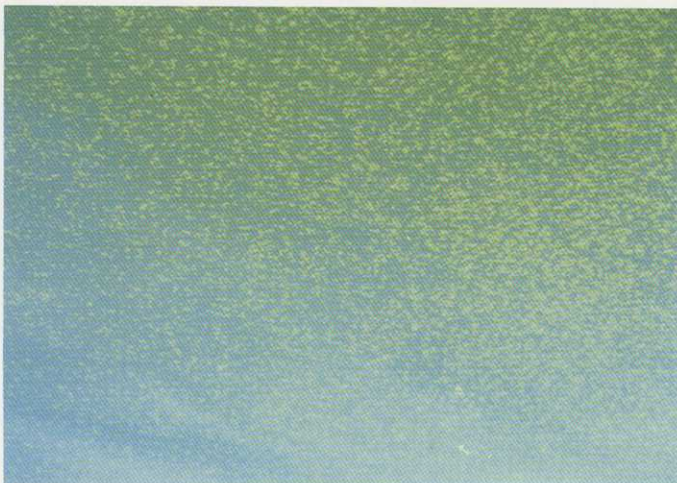
レベル0：アオコの発生は認められない。



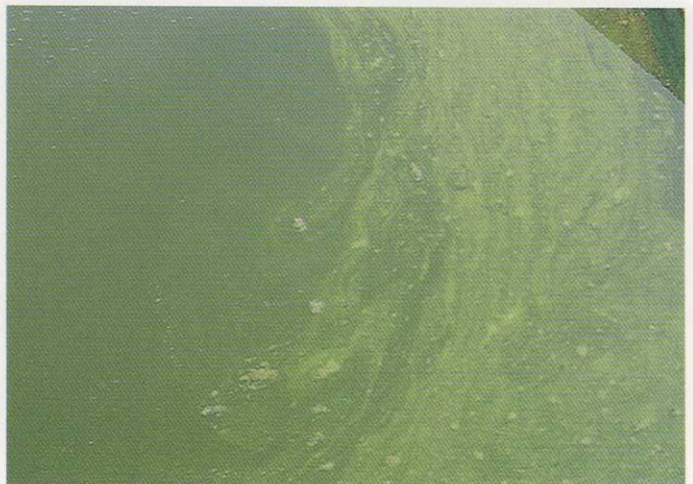
レベル1：アオコの発生が肉眼で確認できない。  
(ネットで引いたり、白いバットに汲んで良くみると確認できる)



レベル2：うっすらとすじ状にアオコの発生が認められる。  
(アオコがわずかに水面に散らばり肉眼で確認できる)



レベル3：アオコが水の表面全体に広がり、所々パッチ状になっている。



レベル4：膜状にアオコが湖面を覆う。



レベル5：厚くマット状にアオコが湖面を覆う。



レベル6：アオコがスカム状(厚く堆積し、表面が白っぽくなったり、紫、青の縞模様になることもある)に湖面を覆い、腐敗臭がする。

## 見た目アオコ指標

湖内で一番集積量の多いところ、多い時間帯でその量を以上のようなレベルで分ける。